
 阿吽の呼吸で
 (関係者の気持ちが一つになつて)
 出来た杖道ポスター
 杖道部幹事長
 財北海道剣道連盟



財北海道剣道連盟
 杖道部幹事長
 安丸 進

昨年(平成19年)、6月頃だったと思う。突然、福岡の波止成徳範士から電話があり、「第34回全日本杖道大会が福岡で開催されるが、ついでにはポスターを1枚作製してもらいたい」との事。

さてさて、気軽に了承してしまつたのはいいけれど・・・。

条件は一目見て「杖道とは」をわかる事。真っ白な白紙の上以前から頭にあった杖と太刀の合わせを真ん中に置いて「良し」としたが後ろの背景が浮かない。数点、頭の中でイメージを描いてみてはポツ。開催地を表すのが良いか、抽象的なものが良いか、何も決められないまま、大会まで後2カ月。福岡を訪ねた際、撮り溜めた写真を見ながら、ふと目に止まったのが大宰府天満宮の奥、宝満山の麓に鎮座する杖道発祥の地、竈門神社を守るように置かれている一対の狛犬の写真。右に口を大きく開けた「阿形」、左に「吽形」の狛犬一対で「阿吽の狛犬」である。

突然ひらめきました。
 ・「制定杖道」の大方の元となつた神道夢想流杖道 64本の形

技の最後は「阿吽」である事。
 ・題材にした阿吽の狛犬像は杖道発祥の地、竈門神社に鎮座しているものである事。

・杖道の試合は「太刀と杖」の形試合からなり、双方の呼吸が合わなければならぬ(阿吽の呼吸)。

題材で表現するためにはもっと詳しく知ろうと「阿吽」の意味を



杖道普及ポスター。基になった第34回全日本杖道大会ポスターは『剣窓』19年12月号で紹介

等など・・・。
 製作コンセプトは「杖道とは一本の棒(杖)と太刀との形稽古を通し、身を鍛え、人格を磨き道を追求する武道。求めるのは『阿吽』の教えである」として背景デザインを作成し、これに「第34回全日本杖道大会」の題字を入れ、波止範士に届け、9月に行われた宮城での地区講習会、また全日本杖道

大会会場にも掲示していただき、大会アピールへの一役をかわせていただきました。

大会も終わり、しばらくして全剣道事業課の川野雅英氏より電話があり、大会で使用したポスターを利用して杖道普及を目的としたポスターを作りたいので協力を願いたい旨のお話がありました。話

色々調べてみると
 ・「阿」は獅子で雌。「吽」は狛犬で頭に角があり雄である事。
 ・「阿形」は悟りを求める菩提心の悟りを表している事。
 ・共に一つの事をするときの相互の微妙な気持ち、互いの呼吸がぴたりと合っている事。

を聞く中で、専門の私達が真剣に取り込まなければならぬ普及活動に全剣道連が動いていただけるとに感謝をこめ、「使つて貰える物として認めていただいた事だけでもありがたい」と即座に了承。題字、キャッチコピー等は杖道委員会検討するということでした。

後日、聞いたところによると、杖道委員会の中でキャッチコピー等を持ち寄り検討を繰り返して、出来上がったとのことでした。私にも背景とのバランスで意見を伺った話があり、多少意見のぶつかりもありましたが、完成品を見て、私の独りよがりのポスターにならず、田原弘徳杖道委員長始め杖道委員の諸先生、全剣道職員、役員の方々、そして一杖道修行者の気持ちを表したポスターが出来上がったものと思っております。

杖道を愛する者として1枚のポスターが10人の、いや1人でも杖道普及につながればと思っております。杖道普及ポスター作成にご努力を下された関係の皆様にご敬意を表します。
 (杖道教士七段)

ずいひつ



(カット・青木千代子)